

事務事業評価表

○基礎情報

課名		秘書広報課	作成責任者	常勤職員		非常勤職員			時間外勤務時間	
施策目標	59	市の情報を広く発信し、市長・副市長の執務を円滑にする	中山 早恵子	管理職	左記以外	再任用短時間職員	臨時職員	非常勤嘱託職員	総時間	一人あたり月平均
				2 人	13 人	0 人	0 人	5 人	4,033 時間	25.9 時間

1 施策指標と実績

施策指標名	第3次実施計画の現状値	目標値(30年度)	実績値			
			25年度	26年度	27年度	28年度
ホームページのアクセス件数(トップページ)	1,151,958件	1,809,600件	1,210,604件	1,151,958件	936,558件	815,328件
ホームページのアクセス件数(全件)	10,266,989件	11,409,000件	9,935,577件	10,266,989件	9,695,803件	9,414,267件

(評価の見方)

- ・ **S** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
- ・ **A** 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
- ・ **B** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
- ・ **C** 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
- ・ **D** 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
- ・ **E** 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
- ・ **Z** 未着手事業
- ・ **実績** 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかったなし

2 事業実績(平成28年度)

No.	事務事業名	事務事業の目的・目指すべき成果	事業の性質	実績			従事者数	会計区分	H28予算 H28決算 (単位:円)	事務事業の指標名	H28目標値	H28実績値	評価	H28業棚選定
		何を・誰を(対象)、どうやって働きかけ(手段)、どうしたいか(生まれる成果)		業務計画	広域連携	行革重点								
1	デジタルサイネージ運用事業(新庁舎)	来庁者に対し、市民課ロビーやエレベーターホール、市民ふれあいプラザのデジタルサイネージにより適切な庁舎案内及び市民への適切な情報発信を行う	政策的事業			●	0.47	一般	1,523,000 ----- 1,240,920	コンテンツの更新回数	380回	350回	S	
2	プロモーションビデオを活用した魅力アップ事業	市民、市外在住者のプロモーションビデオの視聴機会を増やし本市の魅力アップを図る	政策的事業				0.18	一般	0 ----- 0	全国移住ナビとYoutubeでの再生回数	累計5,000回	6760回	S	
3	ホノルル市・郡との姉妹都市提携交流事務	ホノルル市・郡との姉妹都市提携に基づき、様々な分野において交流事業を展開し、きめ細やかな交流を推進する	政策的事業	●			2.89	一般	19,852,000 ----- 18,666,932	ホノルルウィークの開催回数	1回	1回	S	
4	広報ちがさき等発行事業	広報紙などを活用して市政情報を発信し、市民との状況共有を図る。また、広告事務を展開し、経費負担の軽減を図る	政策的事業	●	●	●	4.63	一般	48,171,000 ----- 48,164,844	発行部数(広報ちがさき+市政情報紙)	2,316,000部	市政情報紙 178,000部 広報ちがさき 2,156,251部 計2,334,251部	S	●
5	市制施行70周年記念事業	市民に愛着、親しみの持てるまちとして再認識してもらい、今後の市政発展のための新たなスタートのきっかけとするため事業を実施する	政策的事業	●			0.75	一般	1,040,000 ----- 936,430	連絡調整会議開催回数	4回	4回	S	

6	交際費に関する事業	市政の円滑な推進のため、交際費を適切に支出する	定例・定型的事業				0.32	一般	3,000,000 ----- 2,624,929	ホームページ公開回数	月1回	月1回	S	
7	市長会、副市長会、その他都市関係会議に関する事務	行政運営上の課題や先進事例の調査研究、情報共有などを行い、地方自治制度の充実及び市政の円滑な運営と発展を図る	定例・定型的事業				0.27	一般	1,924,000 ----- 1,893,400	会議参加回数	45回	48回	S	
8	市長及び副市長の秘書に関する事業	市長及び副市長が市政を円滑に推進するために必要な情報収集や交際を行うことができる執務環境を整える	定例・定型的事業	●			3.37	一般	2,986,000 ----- 2,759,173	秘書業務実施日数(「市長の日」確保日数)	353日 (12日)	355日 (10日)	S	
9	表彰関係事業	市政の発展や公共の福祉の増進等に貢献した者または団体を広く顕彰する	定例・定型的事業				0.27	一般	1,581,000 ----- 1,273,994	表彰実施回数	式典1回、その他随時(5回)	式典1回、市民栄誉賞1回、特別表彰6回	S	
10	FM放送用市広報番組制作事業	地元FM局を活用した行政・地域、市民活動情報の発信による市民への積極的な情報提供を図る	定例・定型的事業				0.47	一般	3,240,000 ----- 3,240,000	番組放送回数	52週	52週	S	
11	ケーブルテレビ等広報番組制作事業	ケーブルテレビやYouTubeの映像を通して地域や市民の活動を伝えることで、市民参加型の番組制作を進める	定例・定型的事業				0.35	一般	27,951,000 ----- 27,875,640	番組放送回数	52週	52週	S	
12	デジタルサイネージ運用事業(神奈中バス)	神奈川中央交通バスを活用して、市民に対して市政情報やイベント案内などの情報発信を行う	定例・定型的事業				0.18	一般	429,000 ----- 428,976	コンテンツの更新回数	25回	24回	S	
13	外国人への情報提供事業	外国人への市政情報、地域情報を英字新聞を活用して積極的かつ効果的に行う	定例・定型的事業				0.25	一般	563,000 ----- 553,236	発行部数	1回発行につき1,800部	1回発行につき1,800部	S	●
14	公共施設見学会	施設の目的や役割などについて広く理解を深めていただくことを目的として、市民で構成される団体に対して実施する	定例・定型的事業				0.34	一般	0 ----- 0	公共施設等見学会の実施回数	12回	15回	S	●
15	広報板管理事業	広報掲示版の設置場所等の適正化を図りながら、地域の身近な場所に掲示物を掲出し、市民に情報の共有化を図る	定例・定型的事業				0.51	一般	1,222,000 ----- 1,028,700	掲示した掲示物の数	200件	245件	S	
16	市ホームページ等管理運営事業	市の組織や業務を分かりやすく紹介するとともに、市の魅力などの情報を市内外の人に即時性をもって積極的に発信する	定例・定型的事業	●	●	●	0.83	一般	11,663,000 ----- 11,445,192	ホームページ全体に対するアクセス数(ページビュー数)	11,000,000件	9,414,267件	S	
17	総合案内等広報一般管理業務	総合案内や庁内放送により来庁者の利便性を図るとともに、定例的な広報事務の効率的運営を推進させる	定例・定型的事業				2.37	一般	14,134,000 ----- 13,297,817	非常勤嘱託職員等の人数	11人	8人	S	
18	報道機関への情報提供に関する事務	報道機関の媒体を活用して、市民に積極的な情報提供を図る	定例・定型的事業		●		1.00	一般	0 ----- 0	年間情報提供件数	310件	319件	S	

19	災害応急対策活動	-				0.84	一般	0 0	-	-	-		
20	庁内共通事務	-				0.69	一般	0 0	-	-	-		
合計						20.97	予算 決算 繰越	139,279,000 135,430,183 -					

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析													
<p>秘書広報課の第3次実施計画の事業数は、「災害応急活動」「庁内共通事務」を除き18事業である。これらを指標の達成度及び事業の実施効果から見ると、18事業が「S」となっている。また、指標の達成状況についても、18事業すべてにおいて80%以上達成できており、順調に事業が実施できたと考えている。達成度の結果にかかる分析は次のとおり。▼平成28年度のホームページトップページのアクセス件数は、81万5千件であった。全体のアクセス件数は、目標値の1,100万件に対して85.6%の941万4千件であった▼検索機能の充実、マイページ機能の導入、ユーザーによるブックマークの活用などによって、トップページを経由せずに目的のページへアクセスするユーザーが増加している。▼クロスメディアを推進すればするほど、ホームページ全体のアクセス件数は増え、トップページのアクセス件数は減る傾向にある。▼ページビュー数が減っているものの、ウェブサイトの延べ訪問回数を示すセッション数を見ると、26年度298万、27年度304万、28年度309万と増えてきている。▼28年4月から各自自治体の広報紙を閲覧できる無料アプリ「マチイロ」でも「広報ちがさき」をお届けしている。28年度末時点の広報ちがさき登録ユーザー数は2,273件（うち市内2,151件、市外122件）となっている。▼28年6月から市内外問わず茅ヶ崎のファンを増やすため、フェイスブックの運用を開始した。28年度末の「いいね」数は1,122件である。▼市制施行70周年記念事業については、28年10月より事業を実施し、29年2月には改修前の市民文化会館を使用し、記念事業を実施した。▼姉妹都市交流事業については、ホノルルウィークを28年7月に市内で集中的にイベントを開催し、昨年度の協力店67店舗に対して2倍にあたる135店舗が参加して姉妹都市関連事業のPRをすることができた。▼職員の時間外勤務に着目すると、総時間で4,033時間、一人当たりに換算すると月平均26時間であった。年度途中で退職した職員の補充がなかったことなどにより、前年度に比べ一人当たり月平均で2.3時間増加した。業務の平準化及び手法の見直しなどを意識しながら、時間外勤務の増加を抑える必要がある。</p>													

4 平成28年度業務棚卸評価における改善の取組結果

No.	事務事業名	取り組みの結果
4	広報ちがさき等発行事業	できあがった広報紙は委託業者によって仕分け後、地域の各配布担当者へ運送され、配布されている。仕分けから運送、配布という一連の流れは、2日間という短期間で行われており、現状作業を可能とする業者自体が不足している。そこで、まずは作業が可能な業者について電話等で聞き取り調査を実施した。結果、仕分け業者に關しては、工程や仕分け部数の量という問題のなかで、同作業を実施できる業者は見当たらなかった。また、運送業者に關しては、本格的に仕様等の確認をするなかで、何社かお声をあげていただいたものの、現業者とは委託料に大幅な開きが見受けられた。年々世帯数が増加していることから、今後は、仕分け・運送という一連の流れそのものを見直すとともに、単年度単位から長期的な契約への移行等を念頭に入れ、引き続き配布手法の検討をしていく。
13	外国人への情報提供事業	英語情報紙「チガサキブリーズ」を年5回発行している。広域的な情報については、65号（9～11月）で寒川神社、66号（12～2月）で湘南国際マラソンや辻堂駅についての情報を掲載した。
14	公共施設見学会	参加団体のほとんどが自治会であるため、市民自治推進課と協議した。自治会側からの要望もあるため、急な廃止については影響が大きいため、28年度の事業廃止は見送り、引き続き事業のあり方について検討を続けることとした。なお、申し込み方法については、28年度までは先着順としていたが、29年度からは抽選とすることとした。

5 新たな行政改革重点推進事業（本項目に記載した場合、別途行革重点推進事業管理表を作成していただきます）

No.	事務事業名	重点事項名	取り組みの概要
1	該当なし	-	-